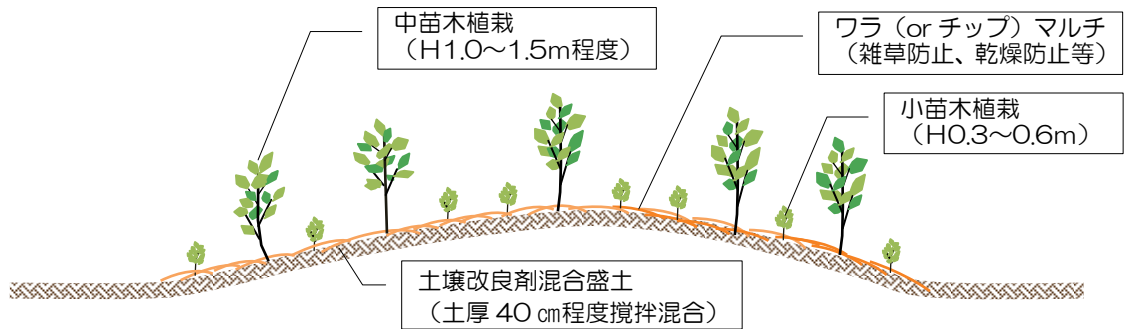


## 農学簿 60 周年記念庭園の考え方

基本方針	理由	実現手法
1. 学生たちの企画案にある「越後の森林」づくりと「眺めて美しい庭づくり」の考え方を活かす。	学生たちがグループ実習で積み上げてきた学習と検討結果をできるだけ尊重する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を「越後の森づくり」とし、時とともに生長し変化していく経過も含めて、楽しみ学ぶことができる庭を、郷土樹種の苗木植栽によってスタートさせる。</li> <li>・中庭の中央に、シンボルとして農学部で長年研究が続けられているブナ群落を造成する。</li> <li>・眺めて美しく、快適に利用できる空間を、ウッドデッキによって演出する。</li> </ul>
2. 農学部の庭であることから、土を大切にす。	土壌は植物の生育にとって重要な基盤要素であり、農学部にとっても重要な研究対象である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木が順調に生育できるよう、良質土や土壌改良剤を混合し、排水対策と保水性に配慮した基盤造成を行う。</li> <li>・これによって、土壌生物の多様化も図られ、落葉落枝が土に帰り、森林のミニエコシステムの基礎が形成される。</li> <li>・その土壌を踏みつけから守るためにウッドデッキの園路・広場を設ける。</li> </ul>
3. 植栽樹種は越後の森林にふさわしい樹種によって群落を形成する。	新潟県の樹木の分布特性は、暖温帯の常緑広葉樹林と冷温帯の落葉広葉樹林の両方の要素が入り混じっており、その特徴を活かす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブを中心とする暖温帯の群落と、ブナを中心とする冷温帯の群落、その中間帯の群落をゾーンによって表現する。</li> <li>・</li> </ul>
4. 多様な生物も生息できる空間を目指す。	森の生態系の重要な一員として、昆虫や野鳥なども生息できる環境が望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫や野鳥が好む植物の植栽や、侵入植物も含めて、生息環境にも配慮した植栽樹種の検討と維持管理を行って行く。</li> </ul>
5. 研究棟の上層階から眺めても美しい庭とする。	庭に降りてくつろぐ機会だけでなく、窓から眺めても快適に感じる空間づくりが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時とともに生長し、季節ごとに変化していく樹木を眺めて楽しめるとともに、園路・広場のデッキのデザインがアクセントとして、空間全体を引き締めるようにする。</li> </ul>
6. 森に囲まれた研究棟を目指す。	学生たちのコンセプトを活かすとともに、西側に隣接する現在のクロマツ林も活かしたゾーニングが可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五十嵐砂丘の記憶としてのエノキやクロマツのゾーン、やや内陸平野部のタブやシイ・カシなどの常緑広葉樹ゾーン、里山のコナラゾーン、山地のブナゾーンなど、越後を代表する植生群落を再現する。</li> </ul>

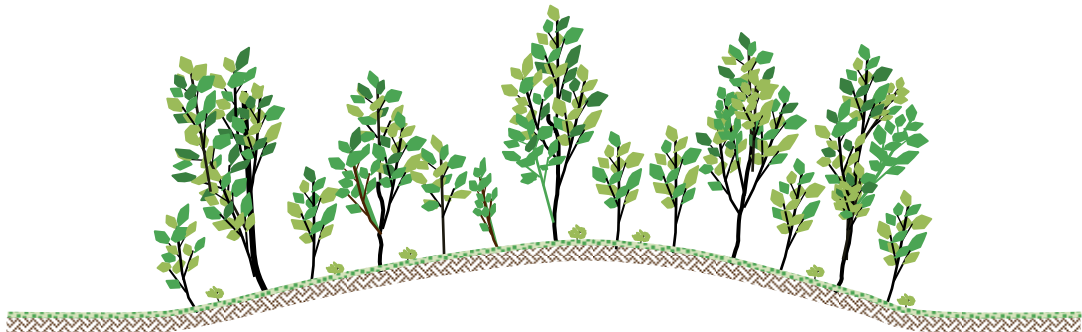
## 農学部嵐丘庭復元工事 植栽樹木の遷移予想図

### 植栽時（2013年）



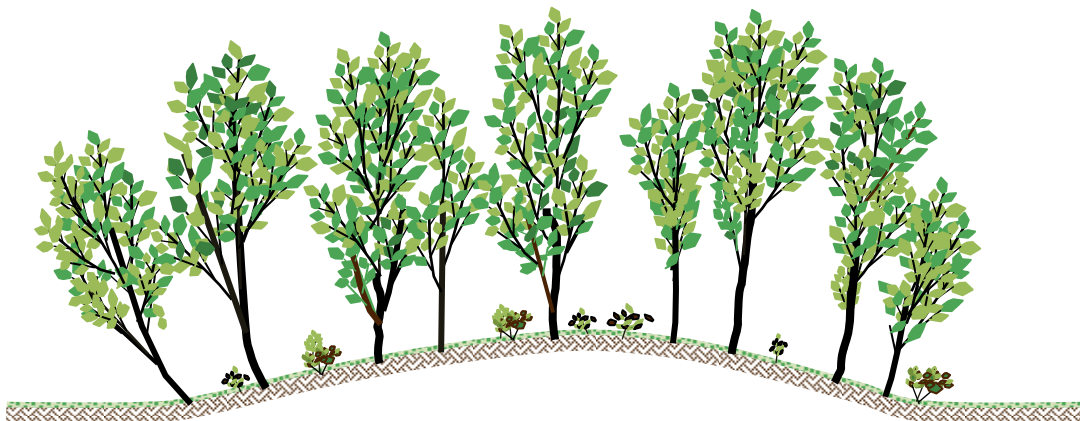
- ・学生や教職員、卒業生たちによる植え込み作業が可能で、支保工も不要な大きさの苗木を中心とする。
- ・時間とともに生長する森づくりを基本とする。

### 植栽後 5~6年（2018~2020年頃）



- ・5~6年経つと、中苗木は 4~5m程度まで生長し、林床には草本や低木類の侵入が多く見られるようになる。ここでは、それらの侵入植物を選択管理し、外来種や、目的とする森づくりに阻害要因となるものはとり除く。
- ・植栽木も競合が起こり始める。

### 植栽後 10~12年（2023~2025年頃）

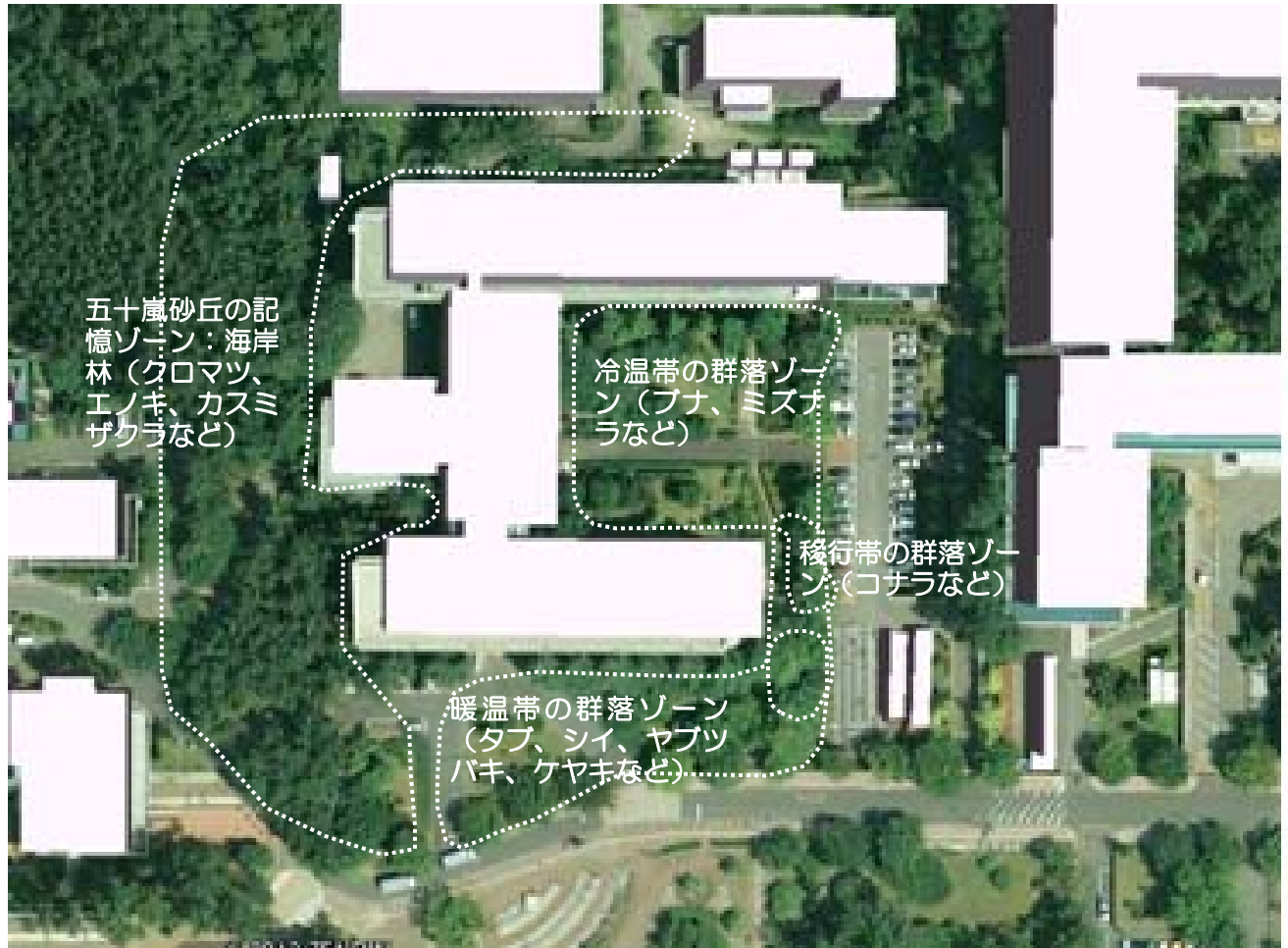


- ・10年以上経過する頃には、樹高 10m近くに達する若い林が成立する。
- ・この頃になると林床は明るい光を好む陽樹や好日性の植物の侵入はなくなりある程度種類の限られる耐陰性の植物に移って行く。
- ・この段階で将来の森の状況がほぼ想定できるようになり、必要に応じて間伐を検討する。

## 群落のゾーニングの考え方

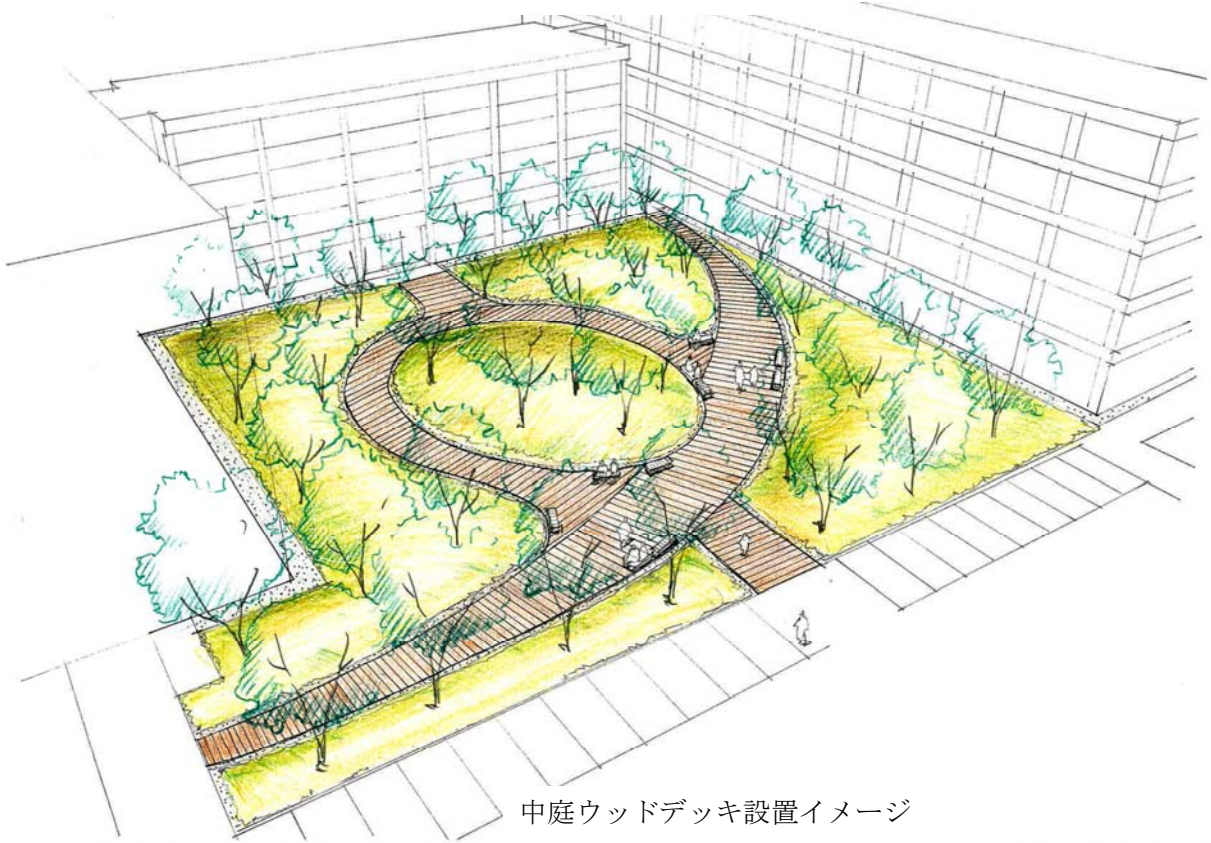
周囲の既存の樹林や樹木を活かしながら、将来的に越後の森林の代表的な群落を再現する。

人工的な植栽と自然の環境、そして群落が形成されるにしたがって変化する環境などが関連し合ってダイナミックに遷移していく状況を学ぶことができる。





## 整備イメージ図



中庭ウッドデッキ設置イメージ



中庭（植後約 10 年後のイメージ）





前庭（植後約 10 年後のイメージ）